

県立下館第一高等学校附属中学校【総合的な学習の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

自主自立の精神を有し、地域のリーダーや国際社会で活躍する人財育成を目指し、生徒と教師がともに学びあう学校。

総合的な学習の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>自分の生活と地域の人々や事象のかかわりに着目し、自ら問いをもちながら課題を設定し、その解決やそれに関連する探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組むことができるように、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>（1）探究の過程（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）を理解して活動する力。</p> <p>（2）課題の発見や解決に必要な知識及び技能を身に付け活用する力。</p> <p>（3）主体的・協働的に取り組むことを通して、自分と社会のつながりを理解し、社会に対する参画意識をもとうとする姿勢。</p>	<p>①ポートフォリオ（ワークシート、計画書、振り返りシート等）を活用し、学習の過程を評価する。</p> <p>②発表スライドや探究ポスター、探究報告書などの成果物について、自己評価・他者評価・教員評価を総合して評価する。</p>	<p>①班内での話合いや担任を中心とした教員との面談を行うことでコミュニケーションの機会を拡充し、進捗状況や困りごとを相談しやすい環境を整える。</p> <p>②学校全体の職員や保護者、スクールカウンセラーや医療機関など外部の機関と連携し、速やかに対応する。</p>

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>①地域探究セミナー～身近な課題への気づき～ 筑西市の魅力を調べたり、地域課題を発見して探究主題を設定したりする。</p> <p>②プレゼンワーク 発表の構成や伝わりやすいスライドの作り方など、プレゼンテーションの基礎を学ぶ。</p>	<p>・地域おこし協力隊や地域で活躍する大学生や社会人からの講話を聴く。</p> <p>・外部企業のプログラムを利用して発表スキルを高める。</p>	<p>地域課題に関心をもち、主体的に課題設定に取り組むことのできる生徒。</p>
2年	<p>①地域探究セミナー～探究スキル習得～ 探究手法（インタビュー、アンケート、実験、観察）を習得し、課題解決に向けて探究活動を行う。</p>	<p>・市役所や地域で活躍する大学生、企業に対して必要に応じて協力を要請し活動を行う。</p>	<p>多面的・多角的に情報を分析し、地域課題に対して効果的な解決方法を考察することのできる</p>

様式 1-1

	<p>②企業インターワーク 身に付けた探究スキルを活用し、企業から与えられた社会課題の解決に向けて活動に取り組む。</p> <p>③国内語学研修 英語を用いて自分の考えを伝える力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部企業のプログラムを利用して社会課題に取り組む。 ・ ネイティブの施設職員との交流や、外国人観光客へのインタビューを行う。 	<p>生徒。</p>
<p>3年</p>	<p>①地域探究セミナー～発表スキル習得～ 2年間の探究活動の成果をスライドやレポート、ポスターにまとめ、発表する。</p> <p>②修学旅行 日本の伝統文化への理解を深め、高校進学後の探究活動に対する視野を広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 探究発表会で他校の生徒と意見交換を行う。 ・ 留学生と交流する。 	<p>聞き手の興味関心を引き、かつ探究活動の過程を論理的に表現した発表のできる生徒。</p>